

「ブロードバンド品質：計測技術と市場への影響（Broadband Performance and QoE: Measurement Technologies Improving the Marketplace）」

開催趣旨

インターネットは社会経済活動にとって不可欠であり、トラフィック量の激増に象徴されているとおり、ブロードバンドインフラに対する需要は加速度的に増えてきている。しかしながら、それに対応するためのインフラ投資は、必ずしも十分とは言えず、ピーク時の通信速度の低下が近年散見されるようになってきた。市場競争が十分に機能していれば、過少投資は通信品質の低下を通じて市場シェアの喪失を招くため、インフラ投資は効率的水準に定まる。しかしながら、現状は、実効品質に関する情報供給が不十分となっている結果、利用者からの競争圧力が十分に働いていない可能性がある。

本シンポジウムでは、ブロードバンドの実効品質をめぐる情報環境を改善するための自律的メカニズムを構築するため、技術コミュニティ、ビジネス界、政策担当者がはらうべき努力について議論を行い、効率的なブロードバンド環境の持続的整備を可能にするような政策を「エビデンスに基づく政策形成（evidence-based policy making）」に即した形で導入するための基礎的知見を得ることを目指す。

開催概要

日時：2018年6月23日（土曜日）午前10時～午後6時

会場：LINE 新宿本社会議室（15階オーデトリウム）

主催：情報法制学会

共催：LINE 株式会社

後援：総務省/電子情報通信学会/情報通信学会/テレコムサービス協会/情報法制研究所（JILIS）
/情報処理学会（順不同）

使用言語：日本語・英語（同時通訳あり）

プログラム構成委員：

江口清貴（情報法制研究所）、石田慶樹（JPNE）、実積寿也（中央大学）、James Miller（American U.）、水越一郎（NTT 東日本）、永見健一（インテック）、白石雄太（イード）
（アルファベット音順）

プログラム

9:30~	受付開始	
10:00~10:05	開会	・開催趣旨説明 実積寿也（中央大学）
10:10~10:30	講演 1	・ James Miller (American University) 『欧州・北南米での経験』
10:30~11:30	基調講演	・ Scott Jordan (UC Irvine) 『 Network Performance Measurement for Purposes of Transparency』
11:30~12:00	講演 2	・ 中川将史（総務省） 『我が国におけるモバイル通信の実効速度計測・表示の取り組み』
休憩（12:00~13:00）		
13:00~15:00	セッション 1	『データ供給者の視点』 モデレーター：James Miller、水越一郎（NTT 東日本） パネリスト： ・ Steve Bauer (MIT) ・ Bradley Huffaker (UC San Diego) ・ 永見健一（インテック先端技術研究所） ・ 長健二郎（IIJ イノベーションインスティテュート） ・ 西塚要（NTT コミュニケーションズ） コメンテーター：Scott Jordan
15:00~15:30 休憩		
15:30~18:00	セッション 2	『データ利用者の視点』 モデレーター：福島直央（情報法制研究所） パネリスト： ・ 福元徳広（KDDI 総合研究所） ・ 山下克司（日本 IBM） ・ 白石雄太（イード） ・ 佐藤太一（J-Stream） コメンテーター： ・ 水越一郎 ・ クロサカタツヤ（企） ・ 宍戸常寿（東京大学）